

第3章 取組の方向性(目標)

街路樹が都市環境において果たす役割を踏まえ、良好な道路景観の形成を目指した植栽を推進してきた一方で、管理上の課題が生じています。これらの課題を解決し、その機能を十分に発揮するために、理想的な街路樹のあり方に基づく取組の方向性を定めます。

3-1 街路樹のあるべき姿

街路樹が備える多様な役割を将来にわたり発揮させるためには、生育環境の確保と持続的な維持管理が必要です。夏季の強い日差しを和らげる日陰の提供、騒音や粉じんの緩和、歩行者の安全性向上など、街路樹の機能の発揮には、以下の①～⑤が重要です。街路樹が本来備える機能を十分に発揮し、健全に生育できるみどり豊かな都市空間を実現するために、街路樹のあるべき姿を以下に示します。

① 美しい景観形成

街路樹は都市景観の一部として、路線ごとに樹種を統一することで、まちなみに一体感と美しさをもたらします。統一された植栽は地域の個性を際立たせ、歩行者に快適性と居心地の良さを提供します。

② 自然な樹形

樹木は樹種によって生長速度や大きさが異なり、なるべく人工的な操作を行わず、樹木が本来持つ性質や環境に応じて自由に枝を伸ばし、葉を広げていくことで、長期的な健全性を保つことができます。自然樹形を基に適切な樹形に整えることで、樹木の健全な生長が促され、剪定頻度が減るなどコストと労力の削減につながります。また、自然に整った樹形は都市の美観や視認性の向上による安全性の確保にも寄与し、快適な道路空間を創出します。

③ 十分な生育空間

街路樹が健全に生長するためには、適切な生育空間が必要です。根の生長を制約する狭いスペースや劣化した土壌は樹木の健康を損なうおそれがあります。生育に適切な空間が確保されることで、樹木は深く広い根を張ることができ、倒木や病害虫の発生リスクの低減につながります。また、十分な生育空間は、周囲のインフラや建築物への影響も抑えられ、長期的な景観の維持にもつながります。

④ 生育環境への適合

街路樹の樹種選定においては、地域の気候や土壌条件に適していることが不可欠です。適切な樹種の選定は、病害虫への抵抗力が高まり、健全な状態を長期的に維持しやすいことから、維持管理の負担軽減や良好な景観形成につながります。このため、生育環境への適合性を考慮した樹種の選定を行うことが重要です。また、こうした樹種は、地域の野生動物や昆虫との関わりが深く、生態系の保全に寄与します。

⑤ 容易な維持管理

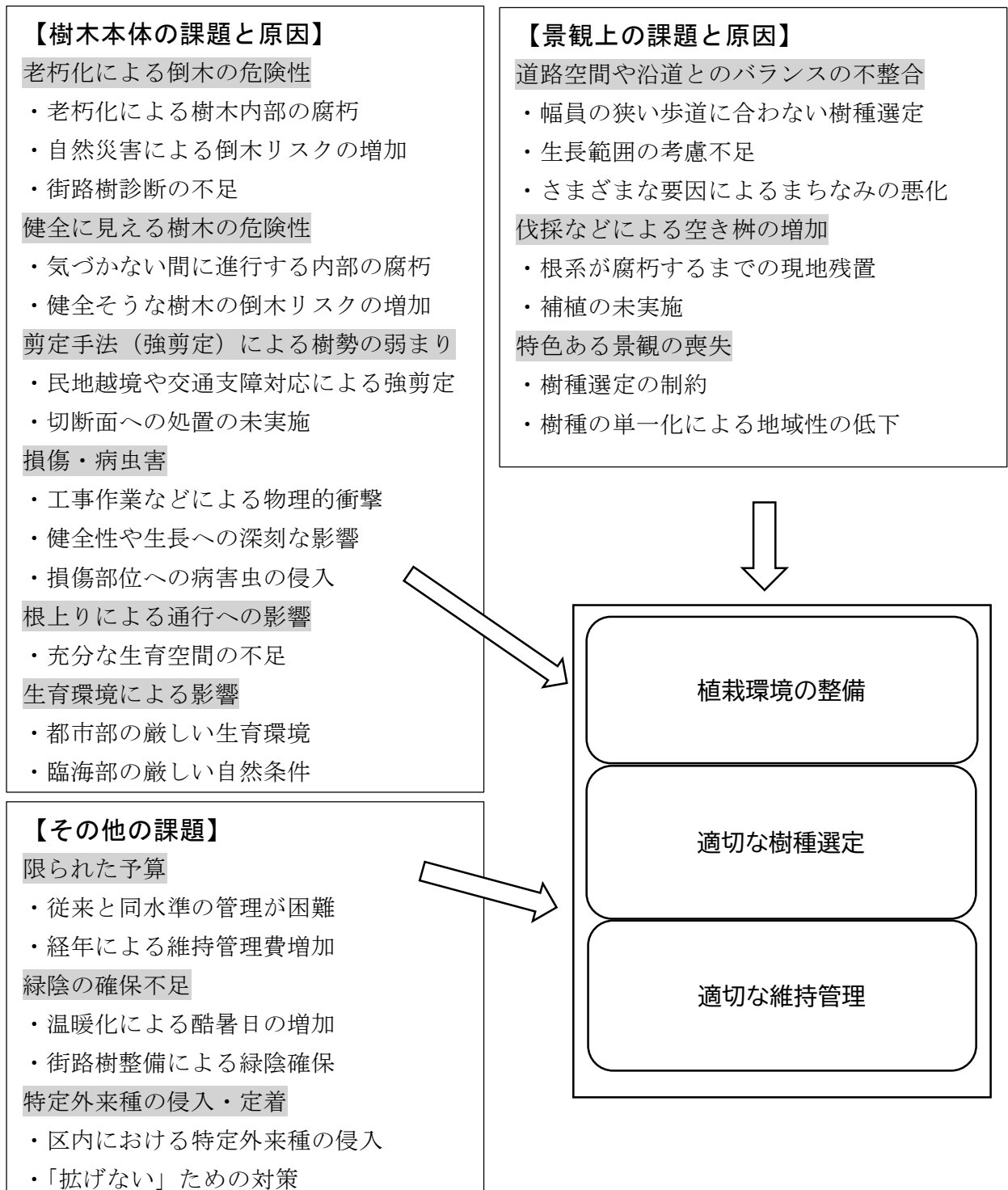
街路樹は都市の景観を形成し、住環境を向上させる重要な要素ですが、これを維持するためには適切な管理が不可欠です。管理が容易な樹種や生長速度の遅い樹種を選ぶことで、定期的な剪定などの作業が減り、コストと労力の削減につながります。また、街路樹の生長に伴い、道路や歩道、電線などにも影響を及ぼすため、影響を最小限に抑える管理手法が重要です。維持管理の行いやすい樹種を選定し、適切な管理をすることで、樹木の健康を保つだけでなく、都市の美観や視認性の向上による安全性の確保にも寄与します。



写真 3.1.1 緑陰を生み出している街路樹の例

3-2 街路樹の基本要件

街路樹の抱える課題を解決し、街路樹の本来持つ機能を十分に発揮し、街路樹のあるべき姿を維持するために必要な基本要件を以下に整理します。



以上のことから、街路樹の健全な育成と維持には、「①植栽環境の整備を行うこと」「②適切な樹種選定を行うこと」「③適切な維持管理を行うこと」の3つが重要です。

3-3 取組目標

街路樹の基本要件を踏まえ、街路樹のあるべき姿を実現するため、以下の3点を、本区の街路樹に関する取組目標として示します。

1 街路樹の健全な生長を保つ**植栽環境の整備**を行う

限られたスペースや都市特有の環境条件にも配慮した上で、街路樹の健全な生長が保たれるような植栽環境を整え、都市の自然環境や美観の向上に寄与する街路樹整備を目指します。

具体的な取組例

- ・歩道幅員に応じた植樹帯、植樹樹とする。
- ・植栽密度や配置を考慮し、樹木同士の競合や不適合な張出しを防ぐ。
- ・適正な基盤を整備するとともに歩道空間に適した剪定を実施する。
- ・工事などの際には、樹木の根や生育域への影響を最小限に留める配慮を行う。

2 景観や区民ニーズなどに配慮した**適切な樹種選定**を行う

景観や区民ニーズ、酷暑などに配慮し、花や紅葉、緑量など、路線ごとの特色に応じた樹種選定を行うことで街路樹のみならず、その地域の魅力を向上します。

具体的な取組例

- ・地域の要望や路線の特色に応じた樹種を選定する。
- ・酷暑に対応するため、緑陰の確保が可能な樹種を選定する。
- ・地域固有あるいは在来種の活用など、生物多様性に配慮した樹種を選定する。

3 **適切な維持管理**を行い、街路樹の質を充実させる

現存する健全な街路樹は、長年にわたり区民に憩いと潤いをもたらしており、それを維持することは、より良い都市環境を確保する上で必要不可欠となります。街路樹の長寿命化を目指した適切な維持管理を行います。

具体的な取組例

- ・適宜点検を行い、状況に応じた街路樹診断を実施する。
- ・街路樹の現況調査を実施し、1本単位の樹種の状況把握に努める。
- ・健全な街路樹は、特段の理由がない限り伐採を避け、良好な状態を維持できるよう適切な管理を行う。

これら3つの目標を踏まえ、第4章及び第5章ではより具体的な手法を示していきます。